

慶應義塾大学 皆川泰代教授との共同研究により

メルちゃん（人形）遊びで、 男児の言語能力が発達することが明らかに 心の理論（「相手の心の状態を理解する」能力）のスコアも上昇



パイロットインキ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：荒木 敏男）は、愛育ドール『メルちゃん』遊びによる児童へ与える影響研究として、慶應義塾大学 赤ちゃんラボ主宰 皆川泰代教授と共同研究『人形遊びのこころの発達「めばえる やさしさ おもいやり」の実証』を2017年より行っております。2019年の共同研究において、『メルちゃん』との特定の条件の下での人形遊びにより、男児の言語発達、心の理論（「相手の心の状態を理解する」能力）でスコアの上昇が認められ、男児の育児にも良い影響を与える、ということが新たにわかりました。

■ 2017年、2018年度共同研究結果

2017年より弊社は、慶應義塾大学 皆川泰代教授と共同研究『人形遊びのこころの発達「めばえる やさしさ おもいやり」の実証(※1)』を行っています。

本研究は、利他行動、心の理論、共同注意など（※2）について、弊社商品『メルちゃん』を使用2.5才～3.5才の女児を対象に調査を行いました。その結果、2017年度は「やさしさ、おもいやり」の基礎部分となる重要な心の発達を促すことが実証されました。2018年は「相手とコミュニケーションをとろうとする心」、「相手が自分とは違う考えを持つことを理解する心」、「相手を思いやる気持ち」を育むことが実証され、『メルちゃん』での人形遊びは、女児の「心と言葉」の発育に良い影響を与えることがわかりました。

（※1）ごっこ遊びが発達に良いことは発達心理学でも指摘されていましたが、効果を客観的に可視化した研究は少なく、本研究では実験心理学を用い「科学的根拠」を見出すことを目指しています。

(※2) 利他行動 = 相手への援助などやさしさ・思いやり行動

心の理論 = 「相手の心の状態を理解する」能力

共同注意 = 相手と物体や人物に対し気持ちを共有する行動

■2019 年度共同研究結果

2017 年、2018 年の共同研究をベースに、2019 年度は対象を初めて男児(※3)として同様の共同研究を行いました。この共同研究の結果として、男児の言語発達（言葉を理解し、伝える力）、心の理論（「相手の心の状態を理解する」能力）の実験結果から『メルちゃん』での人形遊びは、男児の発育に良い影響を与えることがわかりました。（協力：関根和生研究員）

(※3)【実験方法】

実験対象者は、3 歳～3.5 歳の男児と母親、合計 60 組。対象者を A、B、C 群に分け、下記の条件での一週間の遊びの前後で 3 つの実験課題（利他行動、心の理論、共同注意）を与え、課題のスコアがどのように変化するかを調べました。

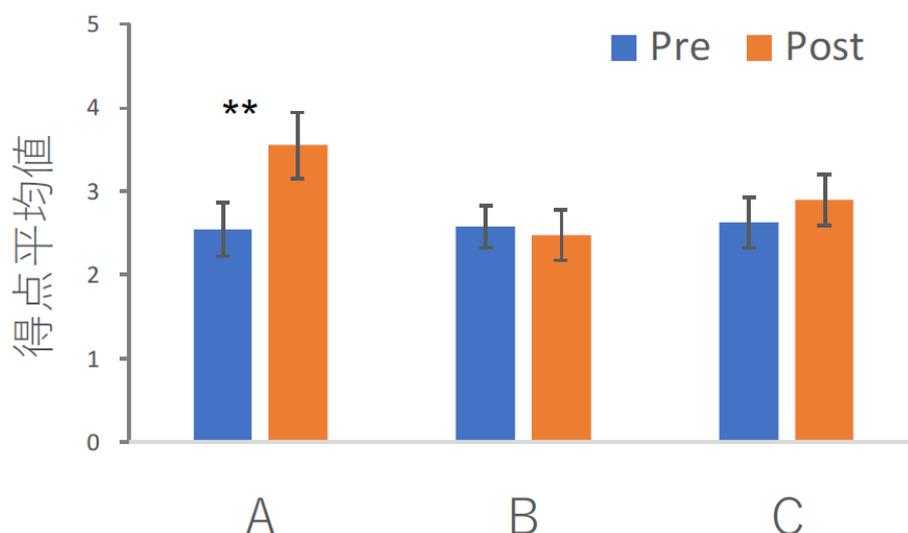
A 群・・・子ども・母親・メルちゃんの三項関係 心的状態を言語化したり視覚化した遊びスクリプト

B 群・・・子ども・母親の二項関係 心的状態を言語化したり視覚化した遊びスクリプト

C 群・・・子ども・母親 心的状態言語化・視覚化のない遊びスクリプト

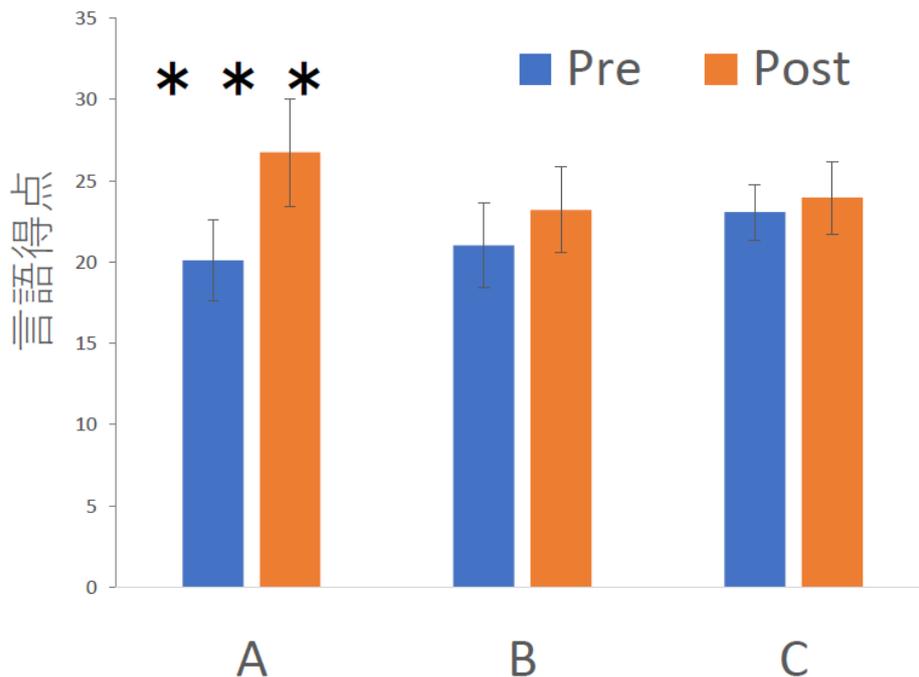
■心の理論（「相手の心の状態を理解する」能力）

A 群（母子 + メルちゃん 心的状態言語化）が、プレからポストにかけて最もスコアが大きく上昇しました。1-2 歳の子供は「自分の見たもの、知っているものは相手も同じ」と考えています。お人形遊びの中で母親がお人形の気持ちを代弁したりするような遊びスクリプトを使い、子ども・母親・お世話人形の三項関係によるごっこ遊びを行うことで、「自分の心の動きと相手の心の動きは違う」ということに対する理解が進むことがわかりました。



■言語発達（言葉を理解し、伝える力）

A群（母子＋メルちゃん 心的状態言語化）が、プレからポストにかけて最もスコアが大きく上昇しました。この理由は様々に考えられます。1つの理由はお人形と母親の3項関係の遊びを通して相手の気持ちを理解（心の理論の理解が）できるようになったことで、複雑な関係性の理解力が上がり言語発達課題で出されたやや長めの文の理解力が上がったことです。この他にも、多くの研究で心的状態の言語化の量と言語発達には強い関係性があると言われていますが、心的状態の言語化をしやすいお人形の「ごっこ遊び」遊びを通して言語発達が進んだことが考えられます。



■慶應義塾大学 皆川泰代教授コメント

男児の育児にも良いメルちゃん遊び

これまでの「男の子ならこの玩具」といった gender-typical（性による典型性）の考え方が、男の子の発達の可能性を狭めていた可能性も考えられます。一般的に女兒の方が、言語発達が早いと言われていますが、それには内的要因、外的要因様々な理由があり、例えば女の子がよく遊ぶお人形ごっこなどが言葉の発達に効果的な外的要因の1つであった可能性も考えられます。3年間の研究でも明らかになった通り、お人形を使ったごっこ遊びは心の発達を促すのに効果的でそれは男の子にも当てはまります。近年、教育界でも重要視される「社会情緒的能力」は創造性、社会性、協調性など、心的概念に関わる要素が関連し、将来的な人生の成功に強く関与するといわれています。この「社会情緒的能力」を伸ばすためにもお人形のごっこ遊びは男の子にも効果的と考えられます。



うちの子、ことばの覚えが悪い？と心配なお母さんに

周りのお子さんがことばを話すようになると、家の子は…と心配になりますよね。そんな時には積極的に話しかけてあげること、お子さんの出すシグナル（例：発声、表情）に積極的に反応することが大事です。そのような場面で、お人形を使ったごっこ遊びも良い「教材」となるでしょう。お人形のフリをまずは保護者がしてあげて、お人形の気持ちをことばにしてあげれば、お子さんのことばや心の理解にもつながります。

「ごっこ遊びにメルちゃんに適している理由

メルちゃんのようないわゆる「お世話人形」は一般的な人形遊びの枠を超えて、お子さんが世話をしてあげる小さな対象になり得ます。育児をする保護者の見よう見まねをしながら日常のお世話をすることで、小さい者の気持ちを考えたり、声掛けをしたりと心がよりよく発達することが考えられます。そのような時にお子さんに対するお人形のサイズやかわいらしさというのが、お世話をしたくなる気持ちの元になると考えられますが、メルちゃんシリーズはそのような気持ちを起こすかわいらしいお人形ですね。

■パイロットインキ(株) 企画グループ リーダー 土井菜摘子コメント

抱き人形のトップシェアブランドとして男児・女児隔てなく愛される商品へ

メルちゃんがなぜ長く愛されているのか、この3年間の慶應義塾大学との共同研究により私たちでもぼんやりとしていた部分が明らかになったと感じています。メルちゃんを通じてお子さまの相手に対する理解が進んだり、言葉を覚えるきっかけとなったり、メルちゃんと一緒に過ごすことが子どもたちの成長の一助になれば嬉しいです。近頃は男の子のお子さんでもお人形で楽しく遊んでいるという声もよく聞きます。親御さんも、女の子向け、男の子向けという視点ではなく、「子どもにとって良いもの」というおもちゃの選び方になっていると感じています。私たちが今回の研究では、業界に先駆けて男の子を対象とした研究を実施しました。メルちゃんは男女隔てなく楽しく遊んでいただけるシリーズだと再認識しています。これからもより一層お子さまの成長に寄り添うお人形として商品開発をしていきたいと思えます。

■参考

下記ホームページにも本研究結果についてまとめてあります。

ぜひご一読ください。

URL : <https://www.mellchan.com/kokoiku/2020/>